## Google のアプローチ 生成 AI におけるコンテンツの安全性

### Chenie Yoon

Google Asia Pacific コンテンツ レギューレーション リード 2024 年 3 月



### アジェンダ

- Google のアプローチ
- 合成メディア検出と来歴情報の技術

## Google のアプローチ

「私たちは、大胆に物事を進めていきますが、その進め方には十分に責任を持つつもりです」



**Sundar Pichai** 

CEO of Google and Alphabet



### 製品発表前の安全性

### 2018 年以降、Google の AI 原則に基づく

### Al のあるべき姿

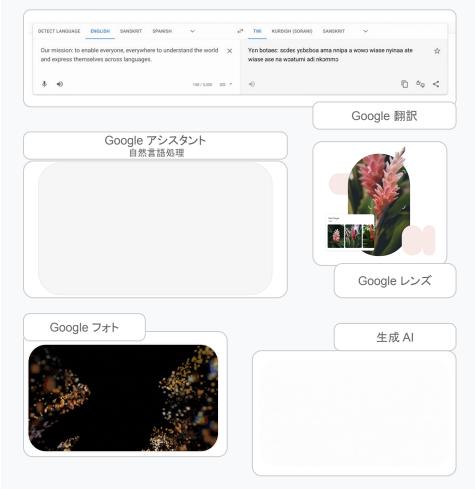
- 1 社会的にとって有益である
- 2 不公平なバイアスの発生、助長を防ぐ
- 3 安全性確保を念頭においた開発と試験
- 4 人々への説明責任
- 5 プライバシー・デザイン原則の適用
- 6 科学的卓越性の探求
- 7 これらの基本理念に沿った利用への技術提供

### Google が追求しない用途

- 1 総合的にみて有害または有害な可能性がある
- 2 危害を与えることを主な目的とするテクノロジー
- 3 国際的に認められた規範に反するような監視
- 4 国際法の理念や人権に反する



Google は 20 年以上 にわたって AI を開発 しており、すでに主要 製品の原動力となって います

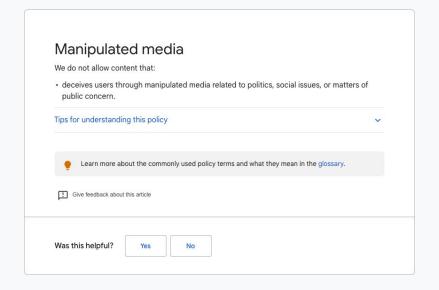


### ここでいう責任とは

- 1. ポリシー
- 2. テクノロジー
- 3. ユーザーのためのコンテキストの提供
- 4. 業界全体での取り組み



Google のポリシーでは、AI による生成であるかどうかにかかわらず、操作された虚偽のメディアをかなり前から禁止してきました









# 個人の顔や声を模倣した、改変または 合成されたコンテンツの報告

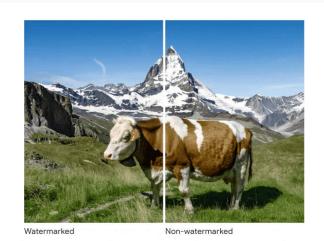
## Someone changed or faked my voice or image without my permission.

"Altered" or "synthetic" refers to content that looks or sounds like you, but was significantly edited or generated by AI or other tools.

Learn more about altered or synthetic content labels.

Report altered or synthetic content

AI が生成した画像に ウォーターマーク(電子 透かし)を入れて識別す るツール SynthID を発表 し、Imagen 2 から利用で きるようになりました







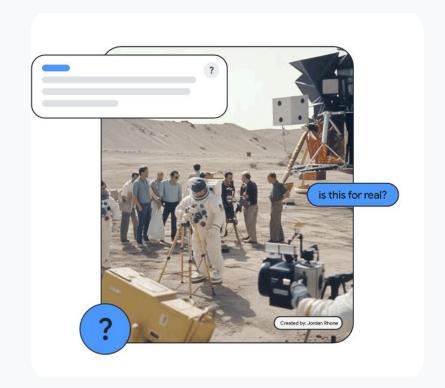
# 合成メディア検出の研究に積極的に取り組んでいます



Google の AudioLM モデルによって 生成された合成音声の検出精度

サンプルとなったのは、短い話し言葉でした。この有望な研究は、今後、他のタイプの音声に広 がることが期待されます

オンラインで目にする 情報の信頼性を評価す るツールを提供してい ます

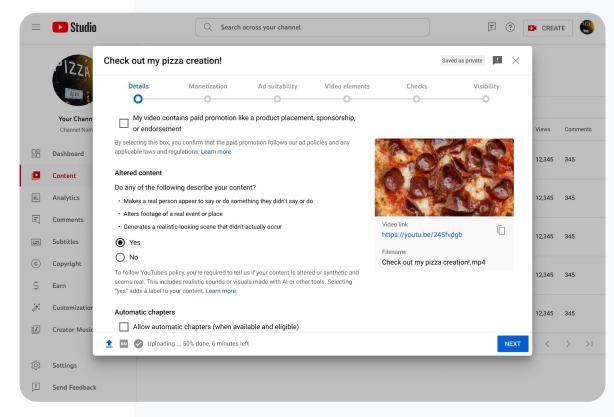


IPTC メタデータや SynthID 電子透かしに 基づき、ある画像が Al によって生成されたも のと判明している場 合、その旨を開示しま





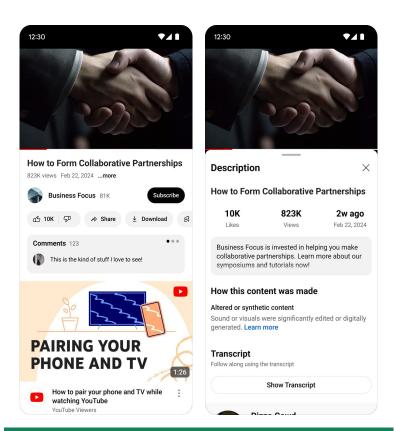
実物のように見えるコ ンテンツについては、 改変または合成され たメディア(生成 AI を 使用したものを含む) で作成したコンテンツ であることを視聴者に 開示するよう、クリエイ ターに求めます

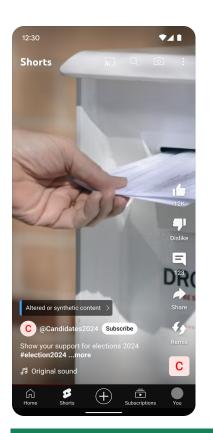


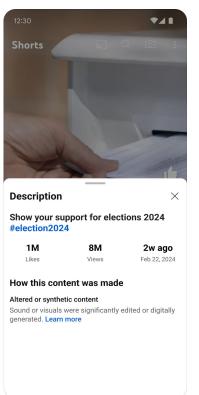


### **>**

### ユーザー コンテキスト









### **①フェイクニュースが** 身近に存在する

人を混乱させるために流される誤 情報・偽情報が存在する事を、身 近な自分事として捉える



②ファクトチェック をしよう



③拡散することの リスクを知ろう

軽い気持ちで拡散する事で、 自分のリスクになることを知る

- 法的責任を問われる
- 人を傷つける
- 信用を失う
- 拡散に加担し社会への迷 惑となる

16

### 偽・誤情報問題啓発キャンペーン









ほんとかな?が、あなたを守る。



協力:総務省·国際大学GLOCOM











立ち止まり、ファクトチェックを する大切さを知る

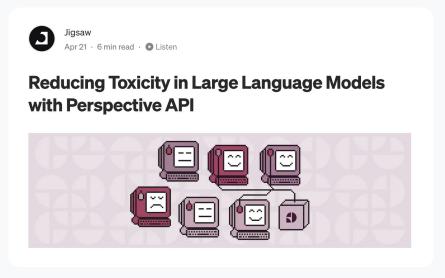
- 他の情報と比べてみる
- 情報の発信元を確かめる
- いつ頃書かれたものか確か める
- 一次情報を確かめる







エコシステム全体の安 全性を高めるツールや 知見を共有します



開発者が利用できる Perspective API は、害悪をフィルタリングします

業界、市民社会、学術 界とともに責任ある AI を構築します





Frontier Model Forum のパートナー

ANTHROP\C

















DATA& SOCIETY







私たちは、C2PAに参加し、来歴情報の主だった標準仕様の開発を進めています

### Google to join C2PA to help increase transparency around digital content

### Google Joins C2PA Steering Committee

Google to join C2PA to help increase transparency around digital content

#### SAN FRANCISCO, Calif. - February 08, 2024

Today, the Coalition for Content Provenance and Authenticity (C2PA), a global standards body advancing transparency online through certifying the provenance of digital content, announced that Google has joined C2PA as a steering committee member.

Google joining the C2PA marks a significant moment for bringing more transparency to digital content. In joining, Google will help to further the adoption of <u>Content Credentials</u>, the C2PA's technical standard for tamper-resistant metadata that can be attached to digital content, showing how and when the content was created or modified. Alongside other steering committee members including Adobe, BBC, Intel, Microsoft, Publicis Groupe, Sony and Truepic, Google will collaborate to further develop the C2PA's technical standard for digital content provenance. With this, Google is also actively exploring how to incorporate Content Credentials into its own products and services in the future.

Additionally, Google's participation, which also includes YouTube, will help to drive broader awareness of Content Credentials as a key resource to help people around the world understand the content they're viewing and increase trust in the digital ecosystem.

"At Gogle, a critical part of our responsible approach to Al involves working with others in the industry to help increase transparency around digital content," says Laurie Richardson, VP of Trust and Safety at Google. "This is why we are excited to join the committee and incorporate the latest version of the CZPA standard. It builds on our work in this space – including Google DeepMind's SynthiD, Search's About this Image and YouTube's labels denoting content that is altered or synthetic — to provide important context to people, helping them make more informed decisions."

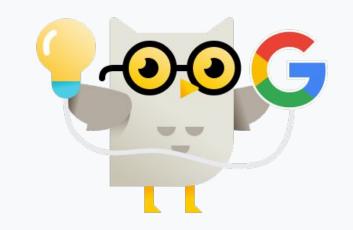
"It is more important than ever to have a transparent approach to digital content that empowers people to make decisions," said Andrew Jenks, CZPA Chair, "The CZPA standards are undoubtedly leading the charge in this endeavor, and we're thrilled with the growth and adaption. Google's membership is an important validation for the CZPA's approach. We encourage others to join us in expanding the use of



## 合成メディア検出と来歴情報の技術

「合成メディア」または「ディープフェイク」とは、生成 AI を使ってゼロから作成・編集されたコンテンツのことです

コンテキスト、ランキン グ、ポリシーといった既 存ツールは、合成メディ アが招くリスクへの対 処に役立ちます



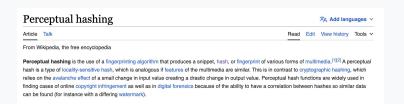
本日は、オンラインコ ンテンツがどのように 作成されたか(来歴)を 評価するための技術的 な取り組みに注目しま



ウォーターマーク(電子 透かし)は、メディアの 一部として、目に見え る形・見えない形で来 歴情報を追加します

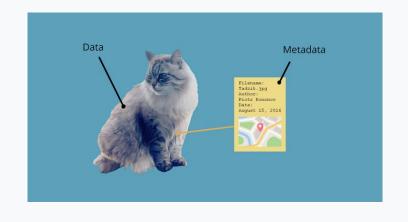


フィンガープリンティングは、「ハッシュ値」を作成します。これは他のコンテンツのハッシュ値と後で比較・照合できます





メタデータは、生成日 やサムネイルなどの 「データに関するデー タ」を署名入り・署名な しでファイルに付加しま



検出分類器は、1つまたは複数の生成AIシステムによる出力を判別するよう訓練されたモデルです



どの方法も便利ですが、限界があります。 組み合わせても確実な解決法にはなりません



## Thank you

